

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	こまき巡回バス運行事業							担当部	環境交通部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	交通防犯課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	交通空港係			
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		8 公共交通		2 公共交通機関を充実させる					
		副目的	8-3									
	予算区分	款	2	項	8	目	2	大	3	中	2	
	根拠法令・個別計画											
	実施・運営方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="radio"/>	一部又は全部委託		
			指定管理・外郭団体			名称:						
			NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	交通空白地域をカバーし、市民の公共施設へのアクセス手段を確保する。											
内容 (手段)	交通空白地域と主要施設を結ぶバスを運行する《8コース(バス8台)》ため、利用状況や市民のニーズを把握しコース設定やダイヤ編成などを行う。 運行時間: 午前6時台～概ね午後8時台 平成22年4月 第2老人福祉センター(小針の郷)開設などに伴うコース・ダイヤの見直し											
受益者負担	有	内容	料金: 大人…200円/日 小学生…100円/日									

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	157,380	142,308	143,455	
		正職員	従事者数	人	0.35	0.35	0.35
			人件費	千円	1,877	1,877	1,877
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計		千円	159,257	144,185	145,332
	対前年比		%		90.5		
財源	一般財源	千円	132,206	119,085	123,332		
	国・県支出金	千円	3,465	1,440	0		
	その他財源	千円	23,586	23,660	22,000		

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		1日あたり運行車両数(平日)	台	目標	8	8	8
				実績	8	8	
		1日あたり運行車両数(土日祝日)	台	目標	8	8	8
				実績	8	8	
				目標			
	実績						
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		年間利用人数	人	目標	306,000	312,000	318,000
				実績	304,251	292,217	
			目標				
			実績				

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	平成22年4月に、第2老人福祉センター(小針の郷)へのアクセス手段の確保や、小牧駅と味岡駅を結んでいた2つのコースを統合し、小牧駅での乗り換えを解消することなどを目的としたコース及びダイヤの見直しを実施し、利便性の向上に努めた。なお、小針の郷へのルート延長に伴う運行本数の減少や、コース統合に伴う乗換え利用者の減少が影響し、年間利用者数は前年度より4%減少した。		
	事業を廃止・休止したときの影響	巡回バスを廃止した場合、高齢者や障がい者など交通弱者の移動手段を奪うことになり、市民の日常生活に支障をきたす恐れがあると考えられる。		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	採算性を理由に民間事業者が撤退した路線や、地域住民が少なく民間事業者が運行し得ない路線などは、行政に代わる運行主体は考えられず、今後、環境問題や高齢者の増加に伴い公共交通の充実は不可避であることから、現状維持又は充実と判断した。		
	今後の事業の方向性(今後の取組み・改善計画等)	高齢者による交通事故防止の観点から、65歳以上の高齢者を対象とするこまき巡回バスの利用料金無料化を早期に実施する。また、「交通先進都市こまき」の実現のため、デマンド交通等の新しい交通システムの導入を検討し、あわせて巡回バスについても利便性の向上を図り、市内交通の充実を目指す。		

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	より市民ニーズにあった交通体系の構築をめざす中で、巡回バスについても、コース等の改善が必要となるため。		